

# 「驚きと発見探ろう」

左京・松ヶ崎小 新聞作り学ぶ

京都新聞記者がニュースの探し方や新聞の作り方を教える授業が24日、京都市左京区の松ヶ崎小で行われた。4年生46人が日常の中にある「ニュース」の発表を通し、記者の仕事内容を身近に感じた。記者が「政治経済も地域の話題記事も、驚

きと発見と感動から生まれる」と説明。児童が「鴨川に大きなヌートリアがいて、びっくりした」「大阪の店で見た自動ドアは『自分で動かせ』というドアで面白かった」など普段の生活で心が動いた体験を語った。その後、見出しつけなどに挑戦

記者に普段の暮らしの中で見つけた「自分のニュース」を話す児童(京都市左京区・松ヶ崎小)



した。

京都新聞社と京都市教育委員会の新聞教育推進協定に基づく同小での授業は、昨年2月に続き2度目。記者2人が講師を務めた。

(高元昭典)